

柏中学校区 小中一貫した教育グランドデザイン

柏中学校 幌南小学校 山鼻小学校

札幌市の「小中一貫した教育」の目的

「自立した札幌人」の実現に向け、義務教育段階において「知・徳・体の調和のとれた育ち」の一層の充実を図る

9年間を通した
子どもの学びの
つながり

子ども理解・
生徒指導の
連続性

教職員の
連携・協働

推進の4つの視点

家庭や地域との関わり

課題探究的な学習

2つの柱

児童の段階に応じた 継続的な子ども理解

校区・地域の状況

・保護者の学校に対する関心が高く協力的である。反面、家庭教育が行き届かない家庭も見られ、二極化が進んでいると言える。また、商業地区では、歴史と伝統を有し、教育活動に協力的である。学校教育に対する期待の高さから、学校の指導、教師の力量に対する要望も多い。保護者同士の連携が強く情報伝達が早い。

柏中学校区・目指す児童・生徒の姿

- ・優れた知性と意欲をもって、様々な活動に主体的に取り組むことのできる児童・生徒
- ・思いやる心、命を大切にする心、自然に感動する等の豊かな心をもつ児童・生徒
- ・体力の向上や健康的な生活に主体的に取り組み、心身の調和のとれた児童・生徒

児童・生徒の現状

- ・見通しをもって粘り強く学習に取り組むので、定着度が高い児童生徒が多い。しかし基礎的基本的な内容が定着していない児童・生徒もいて二極化しており、難易度の幅を広げた巧みな授業展開を実践していく必要がある。
- ・明朗で素直な児童・生徒が多く、知的事項に対する興味・関心が高い。また相対的に思考力・判断力に優れているが行動力や表現力に関しては、やや主体性に欠ける面があり、指示待ちの傾向がある。
- ・健康に対する関心が高い児童生徒が多いが、体力面では、学齢が上がるにつれて、個人差が大きくなる。

共通に目指す児童・生徒像

あこがれと ほこりで つながる 柏中学校区の子ども

幌南小学校

心豊かな主体的な人間の育成を目指して

- 優れた知性を養う
(落ち着いて考える子)
- 豊かな情操を養う
(仲よく思いやりのある子)
- 強い身体を育てる
(たくましくやり通す子)

各校・学校教育目標

柏中学校

- 高い知性と正しい判断力をもった気品のある人間の育成。
- 未来社会をきりひらく強じんな気力・体力をもった人間の育成
- 連帯の意識と自主独立の精神をもった人間の育成

山鼻小学校

- 共に生きる豊かな心を育てる
- 明朗で健康な心身を育てる
- 自主的に学ぶ力を育てる
- 創造的な知性を育てる

【学び】

- 「共に学び合う授業づくり」
 - ・子どもが自ら考え、判断し、表現する活動の充実
 - ・自分への自信につなげるきめ細かい指導の充実
- 総合的な学習の時間に関する連携
- 体育の研究授業での交流・助言
- 情報領域におけるカリキュラムでの連携
※Chromebookの活用など
- CAN DO LISTを活用した系統性ある外国語指導に関する連携

【例】教職員の連携・協働について

- 合同研修会の充実（小小の連携、小中の連携）
- 小中連携の授業見学会の開催
- 小中連携道徳講演会の実施
- 小学生の中学校体験入学と中学生によるその支援と小学生への学習アドバイス
- 各教科担当による授業交流
- 中学校教員による6年生への授業
- 中学校の総合発表会や研究大会などの参観交流

具体的な取組

【こころ】

- 基本的な生活習慣の確実な指導
- 特別の教科「道徳」の一層の充実 性教育を通しての他者理解
- きめ細かな生徒指導と情報共有・情報交流
- 「まほうのかいわ」等で家庭との連携
- 小学校の健康教育「いのち」の学習と中学校の「性」に関する総合的な学習の時間とのつながりある指導※全校道徳（命）とも連動
- 「生き方」を見つめるキャリアパスポート活用

【例】家庭や地域との関わりについて

- 健全育成推進会（中学校区）単位でのイベントの開催
- 中学校区内を単位としたキャリア講演会の実施
- 中央区保健センターと連携し、「いのち」に関する学習を実施
- NTT DOCOMOによるSNSに関する講義の実施

【からだ】

- 授業等を通した、心身の健康の保持増進のための資質・能力の育成
- 健康教育「からだ」を中心とした健康に関する資質・能力の育成。
- 多様な機会に運動できる環境の整備
- 自他の心と体を大切に、進んで健康な心身をつくる姿勢の育成
- 体育の授業の充実、運動する機会の設定、健康教育等を発達段階に応じて経年で実施する

【例】地域の特色を生かした取組について

- 南警察所との連携
※薬物乱用防止に関する講義
- 教職員の連携・協働について
 - ・体力向上と健康維持に関わって(校内で共有、意識化)
 - ・健康教育に関しての情報共有(3校間で)
- 家庭や地域との関わりについて
 - ・健康的な生活習慣づくりを図る(家庭と)
 - ・感染症の影響を受けて安心安全な活動内容・方法等についての理解や協力を得られるようにする(家庭・地域と)

9年間を通した子どもの学びのつながり

「小中一貫した教育」教科等カリキュラム

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
学び (生活科・総合的な学習の時間)	探究的な学習の過程で、身近な生活から課題解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成する。				実社会や実生活の中から問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。				探究的な見方・考え方を働かせ、主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする。
こころ (道徳・性教育)	自分のよさに気づき、思いやる心をもって人と関わる力を育てる。				自分の良さに気づきそれを伸ばそうとするとともに、他者の存在を尊重し思いやる心を育てる。				自分の良さや可能性を自覚し、それを他者と支えあいながら積極的に生かそうとする心を育てる。
からだ (健康教育)	体を動かす楽しさや喜びを味わうとともに、健康的な生活習慣を身に付ける態度を育む。				健康的に望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の保持増進や自他の生命を大切にすることを育む。				積極的に心身の健康を保持増進する実践力を育むとともに、自他の生命を大切にすることを育む。

具体化の方策

○「学び」（総合的な学習）、「こころ」（道徳・性教育）、「からだ」（健康教育）において、学校や地域の実態に応じて、どのように教材化しているか、課題探究的な見方・考え方を育むプロセスを3校合同で互いに研修し、9年間を通したカリキュラムの充実を図る。

評価

○学校評価システムの連携（教職員・児童・生徒・家庭・地域）
○3つのカテゴリーにおける「9年間を通した学びのつながり」の評価規準を共有化し、定期的に評価・改善・充実を図る。